



中野 頌治

- ① 国民健康保険事業の見通し
- ② 能勢町健康長寿事業『のせけん』の展開
- ③ 『続けられる農業、始められる農業』と題しての方針

問 国民健康保険の見通しについて問う。

答 令和7年度の統一保険料の仮算定結果が示され保険料は令和6年度よりも減少する見込みである。引き続き、保険料の抑制に努める予定である。



問 健康増進事業として1人当たり1万5千円の支給が行われているが、来年度の事業展開を問う。

答 コロナ禍や物価高における健康増進支援策として、令和2年度から実施しているが、コロナ感

染症を取り巻く状況や国保会計の財政状況等を踏まえ、本年度をもつて事業を終了する。今後は国の交付金等を有効に活用しながら、『のせけん』との連携を強化し、被保険者の健康の保持増進や疾病予防に努める。

問 令和2年から令和6年までの事業期間で行われてきた『のせけん』の成果と、事業がどのような形で継続されるのか問う。

答 産学官連携事業として実施している本事業では、現在40歳以上の住民千人弱の方に家庭血圧測定が図られていることが大きな成果である。

来年度以降は『のせけん』の取組みを継続し、

さらに発展させていくため、現在、予算規模を含め事業内容の精査を行っている。

問 農業組織等の法人設立に取り組むとあるが、目標と計画を問う。

答 令和7年度にモデル地区での農業法人の設立の準備に取り組み、令和8年度に事業を開始できるように計画している。

まず関係機関による準備組織を立ち上げ、農業法人化の勉強会や視察研修を実施し、モデル地区の設立をめざす。



一般質問



井上 加奈子

問 通学費助成について問う。

答 公共交通の充実や家庭の負担軽減に向け、支援手法を検討する。高校・大学生に定期代ではなく通学手当という形で給付を考えていきたい。

問 憩いの広場に児童用遊具は必要か、不要か。

答 どこかにはあった方がいいと考える。

問 ささゆり学園の魅力向上について問う。

答 給食において地産地消を推進し、エコ農産物を取り入れ、有機給食を導入し、ささゆり学園の魅力向上を図り、子育て世帯の転入増加をめざす。

問 農産物を変えることが、なぜ魅力向上になるのか。

答 0歳児クラスは、これ以上受け入れられない状態である。

能勢をどう動かし、今をどう変えるのか？

子ども子育てを焦点に、新町長に問う

答 有機給食導入の保護者ニーズがあり、食に対する意識の多様化を感じている。どのように実施するか、農政部局と連携しながら検討していく段階である。

問 有機給食運動には非科学的な言説が含まれることもあるが、どう考えるか。

答 食育推進基本計画に掲げられる「環境と調和の取れた持続可能な食料生産とその消費にも配慮した食育の推進」に沿って、間違った印象を与えないよう取り組んでいく。

問 保育所の待機児童数を問う。

答 現在検討中で、4月までには何とかしたい。

問 保育所の待機児童数を問う。

答 0歳児クラスは、これ以上受け入れられない状態である。

